別　紙

（結果報告）

１．既存集合住宅の断熱改修・耐震診断技術シンポジウム

日　程：令和元年 8 月 31 日（土）、9 月 1 日（日）
会　場：モンゴル科学技術大学 図書館棟会議室（ウランバートル）
主催者：NPO 法人建築技術支援協会、モンゴル科学技術大学
参加者：
（モンゴル側）　モンゴル科学技術大学　ドゥンヘルジャボ教授、ガンゾリグ教授、プレブ・エルテネ教授ほか
その他政府関係者、建設会社など約 30 名
（日 本 側）　共立女子大学　松本年史教授
(株)中村勉総合計画事務所　中村勉代表取締役
NPO 法人建築技術支援協会　安部重孝常務理事
国土交通省住宅局　石原晃彦建築国際関係分析官 など 12 名

概　要：
ウランバートル市には旧ソ連時代に建設された壁式プレキャストコンクリート造の集合住宅が多数あり、建物の経年劣化に対する断熱性能の改善や地震に対する耐震性能の確保が課題となっています。これを受け、日本・モンゴル両国の断熱・耐震技術等に関するシンポジウムが開催されました。
日本側からは、既存集合住宅の断熱改修について、容易で性能に優れた改修技術の提案及び現地での試験施工の経過報告が行われました。また、日本の建築規制・耐震施策の概要や、日本の手法を用いた既存集合住宅の耐震診断結果等について発表がありました。
モンゴル側からは、現地での断熱技術・耐震設計制度等の現状と課題について発表がありました。また、両国からの発表後には、活発な討論が行われました。
シンポジウムにはモンゴル側から研究者、政府関係者をはじめ約 30 名、日本側から 12 名の参加があり、日本側から提案した断熱改修・耐震診断の技術に高い関心が寄せられました。

シンポジウムにおける発表

シンポジウムにおける討論

２．モンゴル建設・都市開発省との協議

日　程：令和元年 8 月 30 日（金）
会　場：モンゴル建設・都市開発省（ウランバートル）
参加者：
（モンゴル側）建設・都市開発省 マグナイスレン事務次官、
ガントルガ建築･建築材料産業政策実施調整局長ほか
（日 本 側）　国土交通省住宅局 石原晃彦建築国際関係分析官
共立女子大学　　松本年史教授
NPO 法人建築技術支援協会 安部重孝常務理事 ほか

概　要：
日本側からは、現地の既存集合住宅の断熱性能・耐震性能向上に関する調査及び技術検討の取組について説明しました。
モンゴル側からは、既存集合住宅の断熱性能向上については住環境改善やエネルギーロス削減のために重要な課題であり、耐震性能についても地震発生確率が高まっている現地では診断・補強対策が必要との発言がありました。また、こうした現地の課題に沿った日本の取組への感謝と強い期待が示されました。

モンゴル建設・都市開発省との協議

（参考）ウランバートル市の既存集合住宅の事例